

# 沿革

明治	32. 7. 21	広島市会において甲乙兩種併置の商業学校設立案可決。
	32. 11. 1	文部大臣から設立を許可される。広島商業学校と称し、修業年限甲乙兩種とも 3 か年。定員甲種科 150 名乙種科 300 名。以来本日を以って創立記念日とする。
	33. 2. 17	柿崎精一初代校長に任命される。
	33. 4. 1	広島市材木町誓願寺内に仮校舎を設け授業を開始。
	33. 12. 14	広島県会において県移管案可決。
	34. 4. 1	本校を県立として広島県広島商業学校と改称。
	34. 6. 21	広島県立広島商業学校と改称。
	35. 4. 1	広島市竹屋村の新校舎に移転。
	36. 3. 20	定員を甲種科 300 名乙種 150 名とする。
	40. 2. 19	甲種科を本科と改称し、予科 1 か年を付設して修業年限 4 か年とする。乙種科を廃止する。
	42. 2. 19	予科修業年限 1 か年を 2 か年に変更し修業年限 5 か年とする。
大正	4. 4. 1	定員を 450 名とする。校歌制定。
	8. 4. 1	定員を 700 名とする。
	11. 7. 30	広島市皆実町に寄宿舎を新築。
	12. 4. 1	予科を廃し本科の修業年限を 5 か年と定め、定員を 750 名とする。
昭和	9. 11. 20	広島市江波町の新校舎に移転。
	10. 4. 1	定員を 1,000 名とする
	13. 11. 1	創立 40 周年記念式挙行。
	15. 10. 21	校舎増築工事竣工式挙行。
	16. 4. 1	定員を 1,250 名とする。
	19. 5. 17	陸軍兵器学校広島分教所として校舎を徴用されたため、広島市皆実町 1 丁目広島師範学校旧校舎に移転。
	20. 8. 6	原爆投下のため皆実町校舎全焼。職員生徒は皆実町校舎、市役所東側、土橋付近にて被災。
	20. 11. 8	戦災物故者追弔(計 138 名)
	20. 11. 11	江波校舎に復帰。
	22. 11. 1	創立 50 周年記念式挙行。
	23. 5. 3	学制改革により広島県広島商業高等学校並びに同校併設中学校を設置。
	24. 4. 30	広島県中学校再編成により本校は廃止され、職員生徒の大部分は新たに設置された広島県広島観音高等学校・広島県広島基町高等学校のそれぞれ商業科に編入される。(校舎は広島大学政経学部にて転用)
	29. 6. 28	広島県会において広島県広島商業高等学校の設立案可決。
	29. 9. 1	広島県広島観音高等学校・広島県広島基町高等学校のそれぞれ商業科 1 年生を合わせて広島県広島商業高等学校とし、広島市仁保本浦旧広島市立工業専門学校校舎を広島市より借用の上開校。
	35. 2. 15	江波町旧校舎に復帰。
	35. 5. 3	創立 60 周年、校舎江波復帰記念式挙行。
	36. 9. 30	原爆慰霊碑建立(合祀者 144 名)
	39. 6. 30	普通教室(6 室)、図書室竣工。
	41. 7. 1	校地内に広島県立商業教育センター開設。
	42. 3. 1	校歌第二制定。
	43. 5. 1	家庭科校舎竣工。
	43. 10. 1	広島県立広島商業高等学校と改称。
	45. 11. 1	創立 70 周年記念式挙行。
	46. 5. 20	屋内運動場兼講堂竣工。
	48. 3. 31	理科、音楽科校舎竣工。
	49. 5. 30	普通教室(3 室)増築。
	50. 6. 30	商業科特別教室竣工。
	52. 12. 31	5号館、広島県立商業教育センター廃止にともない県教委より移管。

昭和	55. 11. 1	創立 80 周年記念式典挙行。
	56. 5. 16	プール開き。
	58. 12. 17～18	第 1 回「総合実践広商デパート」実施。実行委員会という教員組織を中心に実施。
平成	60. 3. 31	本館外装工事完了。
	2. 3. 31	セミナーハウス(660 m <sup>2</sup> )竣工。
	2. 11. 1	創立 90 周年記念式典挙行。
	3. 3. 22	クラブハウス(214.19 m <sup>2</sup> )竣工。
	4. 12. 12～13	第 10 回「模擬株式会社広商デパート」として実施。 組織を「株式会社」方式とし、生徒に企画・運営させる。
	5. 3. 29	本館リフレッシュ工事完了。
	6. 4. 1	商業科、国際経済科、会計科、情報システム科の 4 学科に改編。
	6. 11. 30	2 号館リフレッシュ工事完了。
	7. 3. 31	学科改編に伴う施設設備工事完了。
	7. 11. 30	商業実践室内装工事完了。
	9. 1. 31	2 号館別館改修工事完了。
	11. 3. 20	本館外装工事完了。
	12. 3. 24	西側自転車置場新築工事完了。
	12. 8. 22	3 号館外部リフレッシュ工事完了。
	12. 11. 1	創立 100 周年記念式典挙行。体育館落成記念式。
	15. 6. 10	「広商サテライトショップ」開店。
	15. 12. 13～14	第 21 回「(模擬)株式会社 広商デパート」学習発表会実施。 新たに多店舗経営とし、支店を五日市・東広島・可部に出店する。
	16. 6. 16	「広商スピリットショップ」開店。6月, 8月, 11月の3回に増設。
	16. 7. 1	文部科学省より「目指せスペシャリスト事業」の指定を受ける。
	18. 4. 7	新本館校舎落成記念式。
	19. 3. 16	3 号館耐震改修, 3 号館・5 号館内部リフレッシュ・アスベスト対策工事完了。
	19. 12. 14	国際経済棟販売実習室(HAPPY SMILE HIROSHO)及び外壁改修工事完了。
	21. 1. 13	「広商スピリットショップ」が「こいこいひろしま」奨励賞を受賞。
	22. 11. 6	創立 110 周年記念式典挙行。
	23. 5. 14	体育館落成記念式。
23. 11. 28	オーストラリア Killarny Heights High School との姉妹校提携を結ぶ。	
25. 3. 29	2 号館・3 号館耐震改修工事完了	
25. 4. 16	オーストラリア Killarny Heights High School 来校記念歓迎式典	
25. 10. 10	広商デパートアンバサダー「広デパンダ」誕生	
25. 11. 1	雨天練習場落成式挙行	

## 校章の変遷

<p><b>明治33年2月</b></p> <p>誓願寺時代</p>		<p>第1回制は紺の詰衿に5つの金ボタン，白線一本に「商」一字の帽子</p>
<p><b>明治35年4月</b></p> <p>竹屋町時代から 昭和18年3月まで続く</p>		<p>明治35年4月1日から昭和9年11月19日まで，現在の南竹屋町に移転，新校舎に移る。 マーキュリーに HIROSYO の頭文字 H をからませた。 一橋大学はこのマーキュリーにコーマシャル，カレッジの CC をからませている。</p>
<p><b>昭和18年4月</b></p> <p>戦争末期 江波，現校舎時代</p>		<p>昭和18年4月 歴史に輝くマーキュリーも敵国の言葉は使用しないという時代が変わって行く。 昭和20年8月までこの校章を使用する。帽子も戦闘帽となる。</p>
<p><b>昭和20年9月</b></p> <p>終戦時代</p>		<p>昭和20年8月15日，敗戦とともに帽子は KEIO (慶應) 帽，校章はマーキュリーに戻る。</p>
<p><b>昭和24年4月 ～29年8月</b></p>		<p>学制改編により広商の商業科は本川を中心にして東は基町高校，西は観音1高校に編入される。</p>
<p><b>昭和29年9月</b></p> <p>仁保町復活時代 (新設高校第1回生時代)</p>		<p>昭和29年9月，仁保町に観音，基町高校の商業科300名を集めて復活した。生徒の心情を支えたものは，往年のマーキュリーの校章であった。教育行政の技術的観点からは新しい高校の設置になるので校章の中央に「高」の字を加えたデザインを採用。</p>
<p><b>昭和38年4月 ～現在</b></p>		<p>昭和38年4月，以前の校章にもどる。</p>